

NPO法人 ナルク(NALC)埼玉西

さい さい
彩 西

—第 247 号—

【発行】NPO(特定非営利活動)法人

ナルク(NALC)埼玉西

【事務局】〒359-1106

所沢市東狭山ヶ丘 1-45-17

田淵頼孝(代表)方

Tel 04-2926-9787

email tabutuchiyoritaka@gmail.com

辰年 令和6年 2024年を祝す

NPO 法人ナルク埼玉西代表 田淵 頼孝

ナルク埼玉西の会員の皆さま。明けましておめでとうございます。

今年も毎日が楽しい日々、安心の日々、感動の日々を期待して生活していきましょう。今年の干支は、「辰年」です。十二支干支の中で唯一架空の動物。権力の象徴とされ、縁起の良い動物とされています。私たちも社会も縁起の良い“辰”にあやかりたいものです。

辰年から「立つ鳥、後を濁さず」を連想し、日々少しずつでも身の周りの整理整頓をしていく年とも考えます。今年は、自分にとって、どのような年になるかを考えてみることでしょう。人間は、集団生活をする中で、会話を楽しむ動物です。会員は、遠慮することなく、大いに語り合しましょう。

わが拠点には、ケアマネージャーのベテラン可児さんがおられます。ボランティア精神旺盛で、会員の介護関係の相談・助言を積極的に行っておられます。今年も会員の高齢者問題に対する助言を可児さんから得て、快適な生活をしたいものです。可児さんの連絡先電話番号は090-7025-4147です。

(追伸) 秩父学園園長からナルク埼玉西に感謝状が授与されました。

この度、所沢市の国立障害者リハビリテーションセンター「秩父学園」園長様から、ナルク埼玉西拠点に25年間の園内花壇整備(月1回)に対し、感謝状を受けました。ナルク埼玉西拠点の成立時に、ボランティアを体験するため初めて取り組んだのが始まりです。拠点のホームページをご覧ください。

辰年 新年に想うこと 少子化問題を考察する

ナルク埼玉西事務局長 大林 孝之

年末に入ると、出生者数の減少、高齢者数の増加を伝える報道が目につき、とりわけ出生率の低下に歯止めがかからないという言葉が新聞報道で目立ちます。

岸田内閣は、先に「こども戦略会議」の中で異次元の少子化対策を発表しました。内容のほとんどは、お金のバラマキのように見えます。これで本当に少子化に歯止めが掛かるのか、甚だ疑問に感じます。確かに経済的な側面が少子化の要因の一つであることは間違いないとは思いますが、ヨーロッパでは金銭的支援策で多子化に転じたということも耳にします。わが国では別のところに本質的問題がある気がします。真面目に誠実に働けば報われ、将来の明るい生活が展望できるようになれば、若者たち

にも子どもを持ちたい、持てるという実感が湧くのではないかと思います。政府は社会構造の抜本的な点を考え、民力とくに私たち高齢者の経験、知恵、活力を活かすことを考えてはどうかと思います。これこそ、もう一度精査の上、適切に対応してもらいたいものです。

辰年 終活を始めました

ナルク埼玉西副代表 会計担当 税所 潤一

若い人の「就活」ならぬ、高齢者の「終活」という言葉を最近よく聞くようになりました。終活の目的は、万一の時、残された家族の負担を減らすことにあるといわれています。私も家族が混乱しないために昨年終活を始めました。

まず、数年前に書いた「遺言書」を最近の事情に合わせて書き直しました。その付属事項として銀行口座の内容等、金銭の管理に絡む事項を整理しました。

取引金融機関が4行・クレジットカードが3枚あり、金銭の支払先としては生活に必要な公共料金、電話、インターネット関連の支出と有料動画配信などの趣味・娯楽関係の支出があり、件数としては25件。これらはいずれも口座引き落としです。それらをリストアップし、一覧表にしたところ関連する暗証番号が5個、パスワードが17個ありました。これらは私しか知らないことなので、家族がすぐに対応できるようにしました。

今後の課題は、これらが本当に必要かどうかを再検討し、件数を減らしたいと思っています。

辰年 傘寿を迎え旅に 人々の心の温かさに感謝

ナルク埼玉西運営委員・コーディネーター 増田 醇子

昨年11月の誕生日で、80歳の傘寿の年を迎えました。誕生時、月足らずの超未熟児、しかも戦時下、医師から「1週間も生きられないでしょう」と言われたとのこと。そんな私ですが、先月は、鹿児島旅行に行ってきました。大きなリュックを背負って、飛行機、船、バス、市電、新幹線……。いろいろな乗り物に乗り、日本の美しい景色、人々の心の温かさに触れることができました。

ナルク活動は、コロナ禍もあり、制限されてしまっていますが、会員の高齢化で活動が縮小しつつあるのは仕方ないことなのか？と思っています。しかし、これまでの“絆”で、互いが励まされてきたことも事実です。新しい年を迎え、これからも健康で過ごせるよう願っています。

時間預託制度の利用で、その魅力を実感

ナルク埼玉西顧問・前代表 飯田 康夫

ナルクは、別名「日本時間預託ボランティア協会」の名称を名乗っています。ボランティアした時間を蓄え、いずれ困ったことがおき、助けてほしい時に、その蓄えを引き出し、支えて頂ける仕組みです。幸い、代表や自宅で事務局を担当、彩西の編集などを繰り返して、いつしか1,000時間超を積み重ねてきました。当方、90歳前後の超高齢夫婦とあって庭先の手入れがお留守。荒れ放題でしたが、昨年猛暑の中、3日ほど、梅の木3本の剪定や草取りを運営委員にお願いし、お陰様で僅かな庭先ですが見違えるほど美しく、いい新年を迎えることができました。時間預託制度の魅力を実感しています。